

兵庫労働局 年末安全パトロール

畑中局長を先頭に

HAT神戸新設小学校・特別支援学校新築工事

完成予想図



施工=大豊・神鋼興産JV

兵庫労働局では、畑中啓良局長による安全パトロールを十二月十九日、神戸市の「HAT神戸新設小学校・特別支援学校新築工事」作業所(神戸市灘区摩耶海岸通二丁目)で実施した。年末年始にかけて建設業での労働災害が増加傾向にあることから、労働災害防止対策の強化を呼びかけるために行われたもの。パトロールには、労働局はじめ神戸市、建設業災害



パトロールする畑中局長(中央)、太田所長(右)、左は川嶋支部長



作業員に安全を呼びかける畑中局長

大豊・神鋼興産特定建設畑中局長がJVスタッフ

と全作業員に対し労働災害防止を要請した。畑中局長は、県内の建設業での死亡災害について「依然として墜落・転落災害が多い」と指摘、このため、フルハーネス型安全帯の使用徹底をはじめ、「許容できないリスクのない職場づくり」を目標とし、同局が推進する「兵庫リスク低減MS運動」への取り組みを呼びかけた。リスクの低減について畑中局長は、リスク低減措置後の残留リスクの管理を組織的、継続的にP D C Aサイクルで管理し、「現場一体となり、許容できないリスクがない工事現場づくりを目指す」と訴え、今年初めは高所作業も増えてくることから、「墜落・転落防止に徹底的に取り組む、竣工まで災害ゼロが達成されることを願う」と述べた。同現場では、リスクアセスメントの実践に加え、通常の朝礼・ミーティングで作業員の安全意識の高揚を図るとも、KY運動や声掛け運動、玉掛け作業での3・3・31運動等を実践。工事は、平成三十一年四月に着工し、現在は二階部分での躯体工事が行われており、進捗率は約三〇%。これまで延べ約六万八〇〇〇時間の無事故・無災害記録を継続中。工期は令和三年一月十五日。

建設物は、RC造一部S造地上六階建て、建築面積五、七〇四・七三平方メートル、延床面積二万、七〇七・七平方メートルの規模。この事業は、神戸市灘区南部と中央区東部のHAT神戸地区での児童数が増加し、今後も増加が見込まれることから、同校舎は、北側に特別支援学校、南側に小学校として「逆コの字型」に整備した。工区では、建物A・B・Cの工区に分け一体的に工事が行われている。パトロールに先立ち、畑中局長は、太田所長、川嶋支部長、現場作業員らとともに、現場を巡回し、作業員に安全を呼びかけた。現場では、フルハーネス型安全帯の着用や安全帯の検査、現場の取組状況を確認し、作業員に安全を呼びかけた。現場では、フルハーネス型安全帯の着用や安全帯の検査、現場の取組状況を確認し、作業員に安全を呼びかけた。